

エコアクション21 環境経営レポート2024

活動期間：2024年8月～2025年7月

Artics
株式会社 アルテックス


®環境省
エコアクション21
認証番号 0007237

発行日

2025年12月1日

目次

1. 組織の概要	1
2. 対象範囲および対象期間	2
環境管理実施体制表	
3. 環境経営方針	3
4. 環境経営目標とその実績	4
4－1. 環境経営目標	
4－2. 実績と評価	
5. 主要な環境経営計画および取組状況	6
5－1. 省エネルギーの推進	
5－2. 資源の効率的使用	
5－3. 一般廃棄物削減と分別による資源化の推進	
5－4. 水道水の使用量の削減	
5－5. 環境に配慮した製品開発の推進	
5－6. 製品の市場クレーム数の低減	
5－7. 社会貢献活動	
5－8. 緊急事態への対応	
6. 次年度の環境経営目標及び経営計画	14
6－1. 次年度の環境経営目標	
6－2. 次年度の経営計画	
7. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無	16
8. 代表者による全体評価と見直しの結果	16

1.組織の概要

事業所名	株式会社 アルテックス										
代表者氏名	渡邊 剛之										
所在地	神奈川県相模原市南区麻溝台8-22-1										
連絡先	TEL : 042-742-2580 FAX : 042-742-2616 E-Mail : info@n-artics.co.jp URL : https://www.n-artics.co.jp										
事業内容	映像関連機器の開発・設計・製造および販売										
年間出荷台数	<table><tr><th></th><th>2022年度</th><th>2023年度</th><th>2024年度</th></tr><tr><td>台数</td><td>3,994</td><td>3,598</td><td>4,927</td></tr></table>				2022年度	2023年度	2024年度	台数	3,994	3,598	4,927
	2022年度	2023年度	2024年度								
台数	3,994	3,598	4,927								
従業員数	20 名										
床面積	470 m ²										

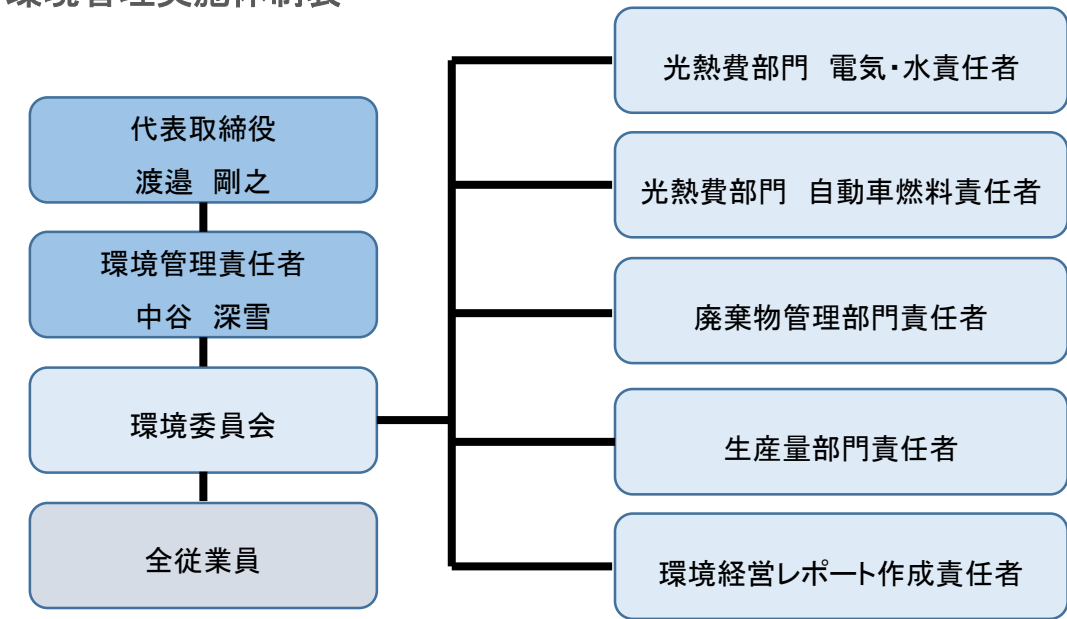


2.対象範囲および対象期間

対象範囲: 全組織・全活動

対象期間: 2024年8月1日～2025年7月31日

環境管理実施体制表



代表取締役	1. 環境管理責任者の任命 2. 環境経営方針の策定 3. 環境経営システムの実施および管理に必要な資源の準備 4. 環境経営システムの定期的評価、見直しの実施 5. 社内情報の外部公開可否決定 6. 環境経営レポートの承認 7. 経営における課題とチャンスの明確化
環境管理責任者	1. 環境経営システムの構築、実施、管理 2. 代表取締役への環境経営システムの実施状況報告 3. 諮問、推進機関である環境委員会の委員長として委員会の運営 4. 環境関連文書及び記録の作成・整理 5. 関連法規の取りまとめ表の維持管理、遵守徹底 6. 環境経営取り組みの統括
環境委員会	1. 環境管理責任者の補佐 2. 環境経営目標、環境経営計画書の原案作成 3. 環境経営の実施集計 4. 問題点の発見、是正、予防処置の実施 5. 従業員に対する教育訓練の実施 6. 緊急事態への対応 7. 環境経営レポートの作成、公開 8. 外部からの苦情・要望等受付、処理
光熱費部門責任者	1. 電気使用量の削減 2. 水使用量の削減 3. 自動車燃料の削減
廃棄物管理部門責任者	1. 廃棄物削減 2. 紙類使用量の削減
生産部門責任者	1. 生産における無駄の削減 2. 環境配慮型製品の開発推進
環境経営レポート作成責任者	1. 環境経営レポートの作成
全従業員	1. 環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚する 2. 決められたことを守り、自主的、積極的に環境経営を推進する

3.環境経営方針

【当社の事業の特徴】

当社は主に画像処理関係などの電子機器を設計し、製造は当社協力工場にて委託生産し、製品を販売致しております。

当社はこれらの活動を通じて、地球環境の保全の為、エネルギーの削減、化学物質の排出の低減、及び有害物質の廃絶に継続的に取り組んでいます。

当社は上記の環境負荷に対して、事業経営の重要課題として以下の事項を優先した事業活動を通じ、環境負荷の低減を図ります。

【理念及び基本方針】

1. 研究開発段階から生産・流通・廃棄まで一貫した資源の節減・環境に配慮します。
2. 環境マネジメントシステムを継続的に改善します。
3. 環境経営方針を、全ての役員・社員に周知徹底し、全員がこれを理解し実践できるよう教育・啓発活動を推進します。
4. 当社は、当社の事業活動に適用される環境法、及び当社が受入れを決めたその他の要求事項を遵守します。

【取り組みテーマ】

1. 省エネルギーの推進
2. 資源の効率的使用
3. 一般廃棄物削減と分別による資源化の推進
4. 環境に配慮した製品開発の推進
5. 水道水の使用量の削減
6. 地域、社会貢献活動への積極的参加
7. 製品の市場クレーム数の低減

2024年10月1日

株式会社 アルテックス

代表取締役 渡辺 剛之

4.環境経営目標とその実績

4-1.環境経営目標

目的※1		単位	基準年 2021年度	2022年度 目標	2023年度 目標	2024年度 目標
二酸化炭素排出量	電気使用量の削減	KWh	63,857	63,218 (-1%)	62,580 (-2%)	61,941 (-3%)
		Kg-CO2 ※2	28,289	28,006 (-1%)	27,723 (-2%)	27,440 (-3%)
	ガソリン使用量の削減 (2019年度より記録のみ)	ℓ	記録のみ	—	—	—
		Kg-CO2	記録のみ	—	—	—
	社用車燃費の向上 (プリウス3) ※3 ※4	Km/ℓ	夏季 24.61 冬季 25.03	夏季24.61 冬季25.03 (維持管理)	夏季24.61 冬季25.03 (維持管理)	夏季24.61 冬季25.03 (維持管理)
廃棄物	一般廃棄物の削減 資源の効率的利用	Kg	953 ※5	953 (維持管理)	953 (維持管理)	953 (維持管理)
排水量	水道水使用量の削減	m³	179	179 (維持管理)	179 (維持管理)	179 (維持管理)
製品及びサービスに関する項目		件	既存製品より消費電力5%削減 環境配慮製品を毎年1件以上開発する			
市場クレームの低減 ※6		件		3件以内/月	3件以内/月	3件以内/月
地域社会貢献活動への積極的参加			PETボトルキャップ、書き損じハガキ、ベルマーク、使用済みインクカートリッジの回収、地域の清掃活動等への参加			

- ・廃棄物、排水量は今後は大幅な削減が見込めないため、2018年より削減目標は設定せず維持管理としました。
- ・2017年度版ガイドラインによりグリーン購入は必須項目から除外されたため項目を削除しました。
- ・2019年度評価後、燃費の向上を目標に絞ったため、ガソリン使用量は記録のみとします。
- ・電気使用量の削減、ガソリン使用量の削減の売上あたりの目標設定は2019年度より廃止となり削除しました。

- ※1 弊社ではPRTR法で規定する化学物質を使用していないので、化学物質の削減目標は設定していません。
- ※2 温室効果ガス排出量の排出係数は、EA21ガイドライン2017年版に従い、調整後排出係数0.443(kg-CO2/kWh)を全ての年度に使用しています。
- ※3 2020年度(2020.8～2021.7)と2021年度(2021.8～2022.7)の記録を平均して目標値を再設定しました。
- ※4 社用車(プリウス2)については廃車の為、目標から削除しました。
- ※5 過去3年間の平均値の+10%を基準値に設定しました。
- ※6 過去の実績を考慮し、毎月3件にとどめることが妥当と判断し、毎月3件以内としました。

4-2.実績と評価

目的		単位	目標		実績	評価
二酸化炭素排出量	電気使用量の削減	KWh	2021年度の実績値より2%削減	61,941	75,824	×
		Kg-CO2		27,440	33,590	×
	ガソリン使用量の削減	ℓ	記録のみ	—	263	—
		Kg-CO2		—	594	—
	社用車燃費の向上(プリウス3)	Km/ℓ	維持管理	夏季 24.61	夏季 23.42	×
				冬季 25.03	冬季 26.59	○
	排出量合計	Kg-CO2			34,184 ※1	—
廃棄物排出量	一般廃棄物の削減 資源の効率的利用	Kg	維持管理	953	1898.3	×
排水量	水道水使用量の削減	m³	維持管理	179	211	×
製品及びサービスに関する項目		件	環境配慮製品を1件以上開発する	1	0	×
市場クレームの低減		件	3件以内 / 月	3件以内 / 月	1件 / 年	○
地域社会貢献活動への積極的参加			PETボトルキャップ、書き損じハガキ、ベルマーク、使用済みインクカートリッジの回収 地域の清掃活動等への参加		PETボトルキャップを相模原市公民館へ届けた	○

※1 CO2排出量総合計 34,202 kg-CO2（環境目標未設定のLPGの排出量18 kg-CO2を含む）

5.主要な環境経営計画および取組状況

5-1.省エネルギーの推進

5-1-1. 経営計画

- ☑ 2Fおよび3Fフロアの昼休み消灯
- ☑ 夜間・休日の便座電源OFF
- ☑ 冷房は外気温28℃にてON/OFF
- ☑ 暖房は室温20℃にてON/OFF
- ☑ エコドライブの励行
- ☑ 蛍光灯の間引き



5-1-2. 取組結果の実績

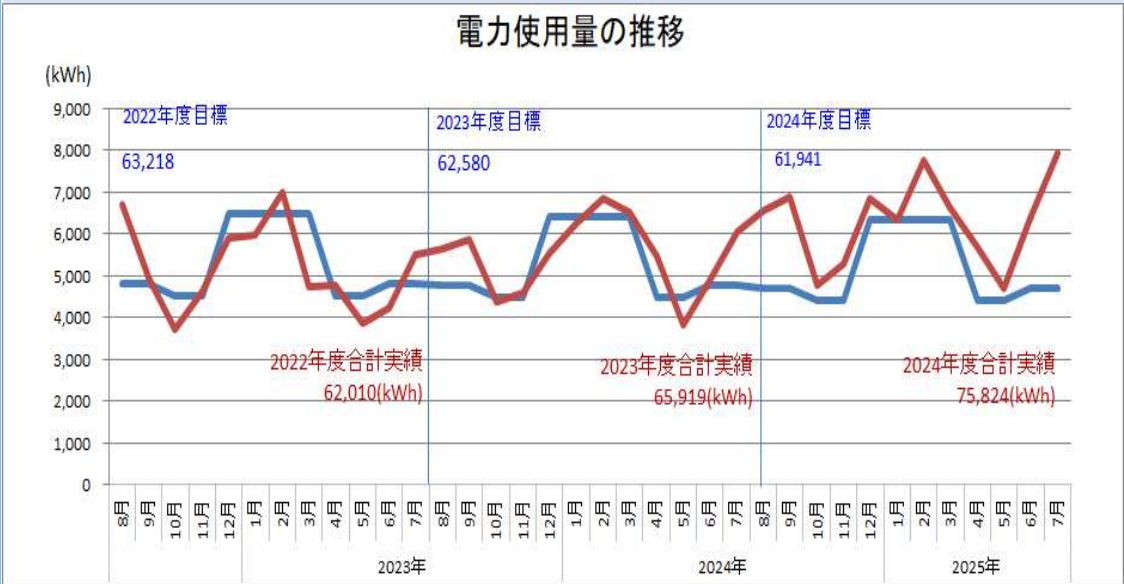
5-1-2-1. 電力

	目標	実績	数値評価
年間使用量(kWh)	61,941	75,824	×

達成率を季節ごとで見ると、冬季92.4%、春秋87%、夏季68.4%となり、年間を通して達成しておらず、なかでも夏季が際立って厳しい結果となりました。

過去の実績に基づいて各季節の目標値を設定していますが、製品の検証のための連続運転、および猛暑の厳しさが使用する電力に表れています。

また2階改装工事のため、6月よりエアコンの稼働台数が増えたため、特に7月の電力使用実績値が冬を超える使用量になりました。



5-1. 省エネルギーの推進(つづき)

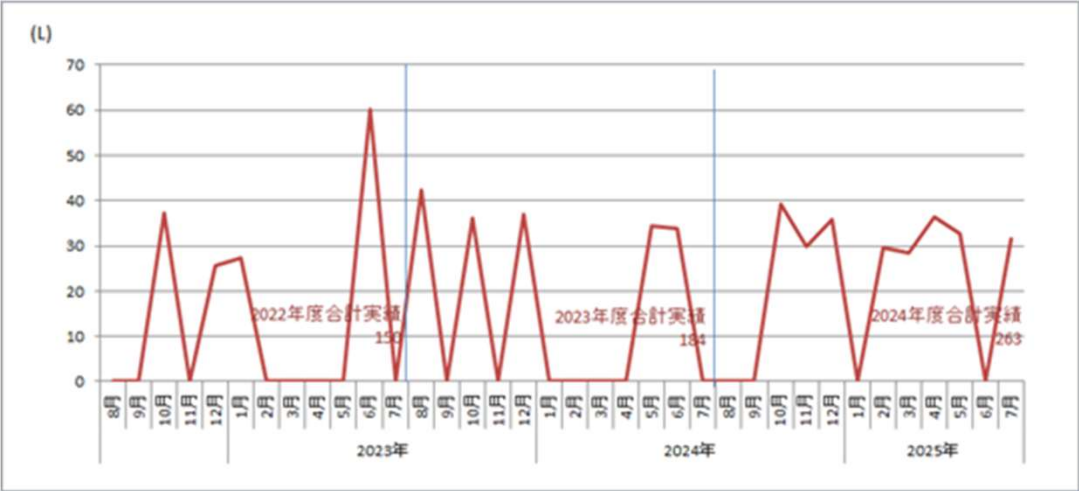
5-1-2-2.
ガソリン

		目標	実績	数値評価
使用量(L)		－	263.49	－
	プリウス3(夏季)	24.61	23.42	×
	プリウス3(冬季)	25.03	26.59	○

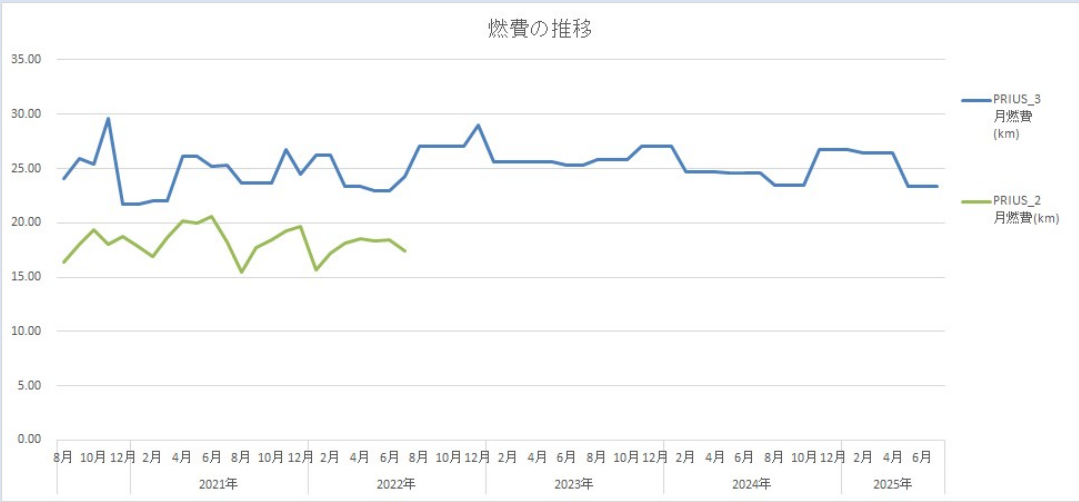
ガソリン使用量は昨年に引き続き出張で公共交通機関を利用することが増え、長距離の移動がなくなったため、以前より使用量は大幅に減少しています。

燃費に関しては、夏季は例年よりも梅雨明けが早く、高温や猛暑でエアコン使用時間が増えたことが燃費低下の原因の一つとして考えられます。

使用量の推移



燃費の推移



5-1-3. 次年度の 取り組み	電力の目標値については、直近の3ヶ年の実績より再設定します。 2020～2024年まで製品の検証による休日の連続運転で使用量は増え続けていますが、この増加は受容するものとします。 引き続き小さい無駄の蓄積を発見、削減するよう全社員からのヒアリング含めて努力します。 ガソリンの使用量については営業社員が増え、外に出る回数が増えたことで昨年より増加しました。 来年度も増加することが予測されますが引き続き使用量の記録を行います。
------------------------	---

5-2.資源の効率的使用

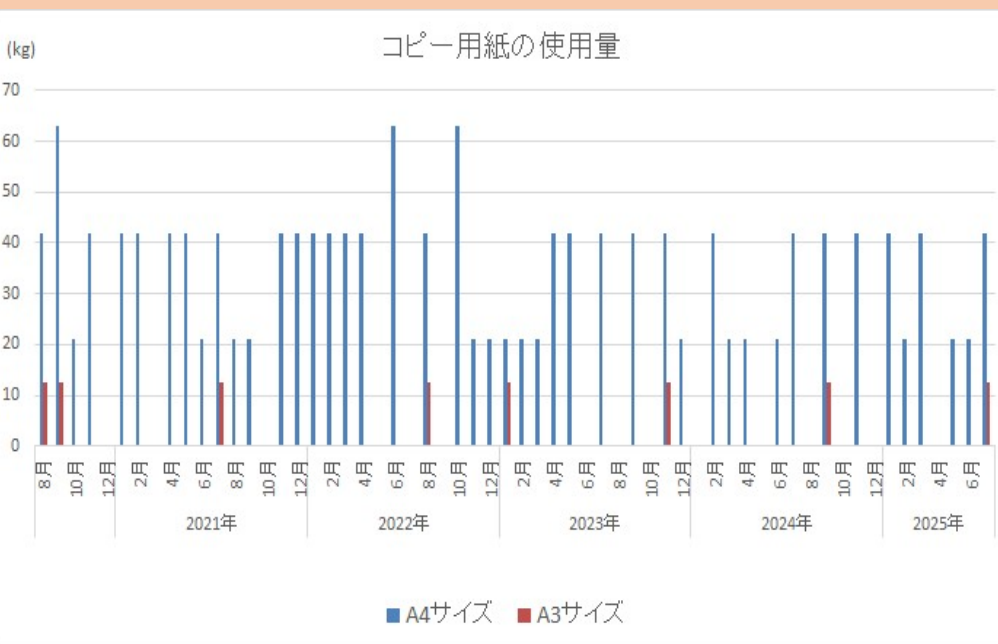
5-2-1. 経営計画

- ☑ 社内文書のペーパーレス化
- ☑ 社内ネットワークの整備および強化

5-2-2. 取組結果の実績

	(昨年度実績)	今年度実績	数値評価
コピー用紙の使用量 (kg)	264.6	298.2	×

前年度と比較すると、コピー用紙の使用量は増加しました。
取説やカタログでの印刷に使用するコピー用紙は、販売促進に伴い増えていくため、減らすことが不可能なので、社内文書などでコピー用紙を節約するよう努めていきます。



5-2-3. 次年度の取り組み

よりペーパーレス化を進めるため、コピー用紙の印刷前にプレビュー等で無駄な印刷が出ない事を確認する事や議事録の不要な箇所を消す等、ページ数を減らす努力をしていきます。

5-3. 一般廃棄物削減と分別による資源化の推進

5-3-1. 経営計画

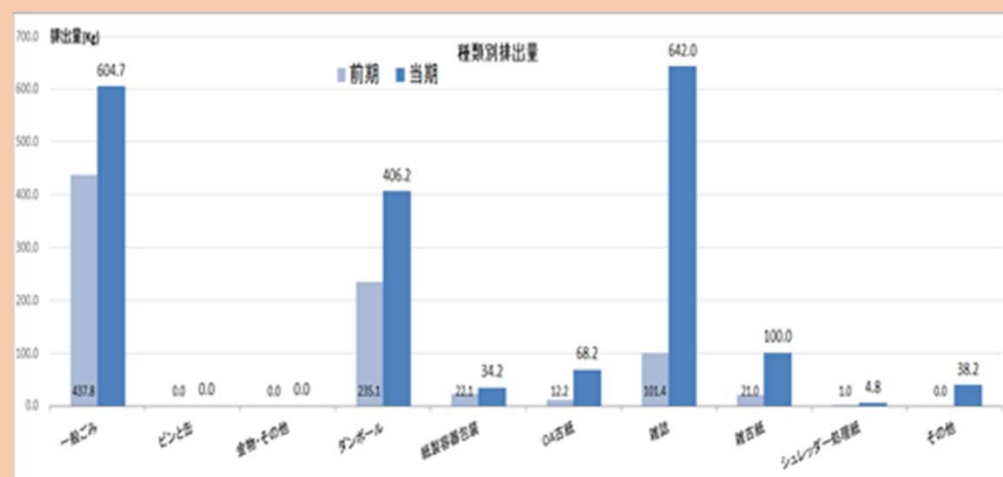
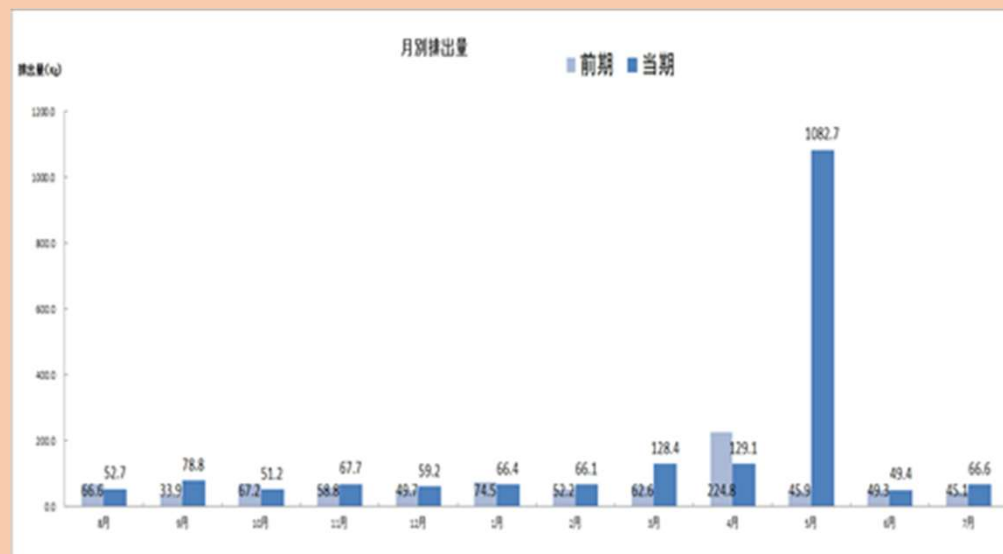
- ☑ 社内連絡のペーパーレス化に努める
- ☑ 分別の徹底を呼びかける

5-3-2. 取組結果の実績

	目標	今年度実績	数値評価
一般廃棄物排出量(Kg)	953	1898.3	×

2Fの改装工事に伴う大掃除があったため、前年度の830.6kgと比較して大幅な排出量増加になってしまいました。

改装工事に伴う排出以外では、特に問題はなかったと思われます。



5-3-3. 次年度の取り組み

今年度も特に問題のある排出品目はありませんでした。
次年度以降も継続して排出量の削減に取り組んでいきます。

5-4. 水道水の使用量の削減

5-4-1. 経営計画

- ☒ 配管の定期点検
- ☒ 節水を促す表示物の配置

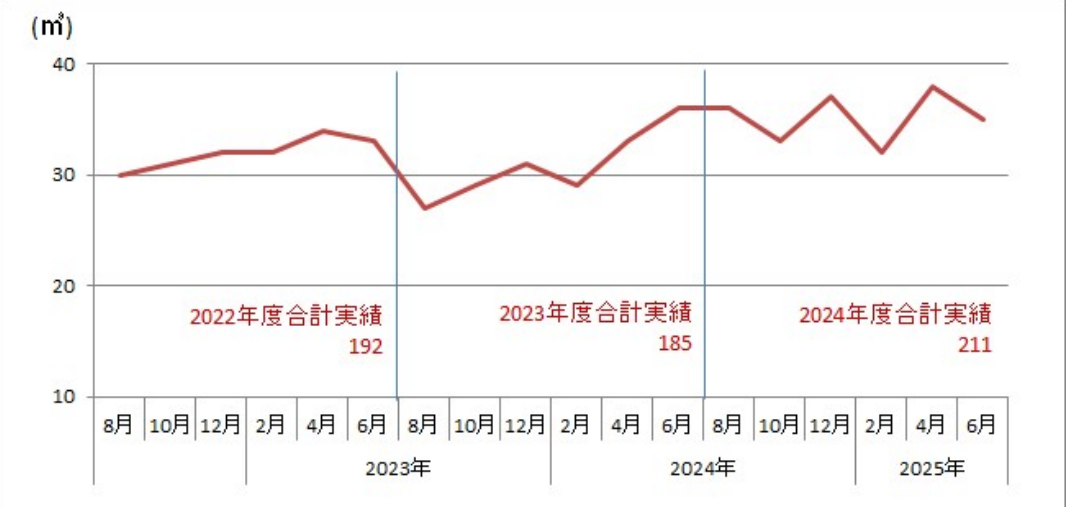
5-4-2. 取組結果の実績

	目安値	実績	数値評価
年間使用量(m³)	179	211	×

目安179(L)に対して、今期211(L)となり、前年、前々年と比較しても今期は使用量が増加してしまっています。

2024年8月外壁塗装工事の仕上げ散水確認と、2024年11月駐車場水道の散水栓漏洩(部品交換済)が原因と思われますので、この増加は許容するものとします。

来期は無駄をなくす教育も含めて節水に努めたいです。



5-4-3. 次年度の取組み

来期は無駄をなくす教育も含め、引き続き節水に努めていきます。

5-5. 環境に配慮した製品開発の推進

5-5-1. 経営計画	☒ 省電力型部品を選択する ☒ 省電力製品を毎年1件以上開発する ☒ 既存製品より消費電力5%削減した新規製品を開発する			
5-5-2. 取組結果の実績	新機種	従来同等機種	数値評価	
	消費電力	消費電力		
	—	—	×	
	—	—		
	今期も省電力の新製品開発は1件もリリースできませんでした。 カスタム製品やリモコン等の周辺機器の開発が主で新規製品のリリースには至りませんでした。			
5-5-3. 次年度の取り組み	省電力製品の開発は、省電力部品を積極的に使用するように設計開発者に促していきたいと思います。			

5-6. 製品の市場クレーム数の低減

5-6-1. 経営計画	☒ 社内不適合の削減			
5-6-2. 取組結果の実績		目標	実績	数値評価
		3件以下/月	1件 / 年	○
今期も製造品質は安定して生産されていましたので、市場での不具合発生は年／1件で収まりました				
5-6-3. 次年度の取り組み	今期も製造品質は安定して生産されていましたので、引き続き技術部定例会議でクレーム有無も議題に掲げ、自社製品の問題点を共有することで不具合件数の低減につなげたいと思います。			

5-7. 社会貢献活動

5-7-1. 活動計画

☒ 社会福祉活動

☒ 地域のボランティア活動

5-7-2. 取組結果の実績

実施月日	活動	内容
2025.01	社会福祉活動	PETボトルキャップ886gを寄付。
2025.06		PETボトルキャップ386gを寄付。

ペットボトルキャップは、年2回届けることができました。
 習慣になっている方も多く、安定してペットボトルキャップが集まるようになりました。
 10月と6月に恒例となっている相模川クリーン作戦に参加しました。
 6月はごみの量は少なめでしたが、10月は米軍キャンプや近隣団体の方々を含めた
 たくさんのゴミを集めることが出来ました。

回収ボックスの設置



5-7-3. 次年度の取り組み

地域のボランティアについてはほぼ再開されているので、今後も積極的に参加する
 予定です。
 社内での回収箱には引き続き力を入れていく予定です。

5-8. 緊急事態への対応

5-8-1. 活動計画	☒ 避難訓練の実施 ☒ 通報訓練の実施 ☒ 電気配線等の確認 ☒ 全従業員へヘルメット及びヘルメット用マグネットフックの配布		
5-8-2. 取組結果の実績	実施月日	活動	内容
	2024.09	避難訓練の実施	大地震発生を想定しての避難訓練。
	2024.10	通報訓練の実施	救急、火事の2パターンを想定しての通報訓練。
	避難訓練は、環境委員が計画・主導して全社員が協力して遂行しました。今回は大地震が発生し、落下物が落ちてきている想定で訓練を行いました。 ・ヘルメットで頭を保護し、机の下等に隠れて落下物に備える。 ・避難指示が出たら迅速に避難経路で1階の駐車場へ避難する。 ・履物は履き替えずそのまま外へ出る。 ・防災用の無線機を使用し、各階の状況を伝える。 ・避難時は出入り口を開けたまま避難する。 上記注意事項を重点的にチェックしました。 避難訓練は全社員が迅速に避難できていましたが、机の下に隠れる等の頭を保護する動きが出来ていない人が見受けられました。 通報訓練は、通報役、消防役それぞれ交代して行いました。 今年度も重複する訓練は行わず、1人1回の簡易的な訓練としました。		
5-8-3. 次年度の取り組み	避難訓練に関してはまだ、改善の余地がありますので次年度以降ももっと真剣に臨むように呼びかけていきます。		

6.次年度の環境経営目標及び経営計画

6-1. 次年度の環境経営目標

目的		単位	基準年 2024年度	2025年度 目標	2026年度 目標	2027年度 目標
二酸化炭素排出量 ※1	電気使用量の削減	KWh	67,918 ※1	67,239 (-1%)	66,560 (-2%)	65,880 (-3%)
		Kg-CO2 ※2	30,088	29,787 (-1%)	29,486 (-2%)	29,185 (-3%)
	ガソリン使用量の削減	ℓ	記録のみ	—	—	—
		Kg-CO2	記録のみ	—	—	—
	社用車燃費の向上 (プリウス3) ※3	Km/ℓ	夏季 24.61 冬季 25.03	夏季24.61 冬季25.03 (維持管理)	夏季24.61 冬季25.03 (維持管理)	夏季24.61 冬季25.03 (維持管理)
廃棄物	一般廃棄物の削減 資源の効率的利用	Kg	1303.61 ※4	1303.61 (維持管理)	1303.61 (維持管理)	1303.61 (維持管理)
排水量	水道水使用量の削減	m³	179	179 (維持管理)	179 (維持管理)	179 (維持管理)
製品及びサービスに関する項目		件	既存製品より消費電力5%削減 環境配慮製品を毎年1件以上開発する			
市場クレームの低減 ※5		件		3件以内/月	3件以内/月	3件以内/月
地域社会貢献活動への積極的参加			書き損じハガキ、ベルマーク、使用済みインクカートリッジの回収、地域の清掃活動等への参加			

※1 2022年～2024年の3年間の実績値を基準とし目標を再設定しました。

※2 温室効果ガス排出量の排出係数は、EA21ガイドライン2017年版に従い、調整後排出係数0.443(kg-CO2/kWh)を全ての年度に使用しています。

※3 2020年度(2020.08～2021.07)と2021年度(2021.08～2022.07)の記録を平均して目標値を再設定しました。

※4 過去3年間の実績値の平均から+10%を維持管理目標としました。

※5 過去の実績を考慮し、毎月3件にとどめることが妥当と判断し、毎月3件以内としました。

6-2. 次年度の経営計画

目的		2024年度経営計画
二酸化炭素排出量	電気使用量の削減 ※1	☒ 2Fおよび3Fフロアの昼休み消灯 ☒ 夜間・休日の便座電源OFF ☒ 冷房は外気温28℃にてON/OFF ☒ 暖房は室温20℃にてON/OFF ☒ 蛍光灯の間引き
	ガソリン使用量の削減	☒ エコドライブの励行
	社用車燃費の向上 (プリウス3)	
廃棄物	一般廃棄物の削減 資源の効率的利用	☒ 社内連絡のペーパーレス化に努める ☒ 分別の徹底を呼びかける ☒ 社内ネットワークの整備および強化
排水量	水道水使用量の削減	☒ 配管の定期点検 ☒ 節水を促す表示物の配置
製品及びサービスに関する項目		☒ 省電力型部品を選択する ☒ 省電力製品を毎年1件以上開発する ☒ 既存製品より消費電力5%削減した新規製品を開発する
市場クレームの低減		☒ 市場クレーム件数の低減
地域社会貢献活動への積極的参加		☒ 社会福祉活動 ☒ 地域のボランティア活動

7.環境関連法規への違反、訴訟等の有無

法規名称	適用する遵守事項	実施状況	遵守状況
産業廃棄物処理法	産業廃棄物(金属類、廃プラ類、基板屑、配線屑、水銀使用製品など)を処理する際に法規に遵守して排出及び処理する事。	2024年4月に適切に排出しています。	○
一般廃棄物処理法 (相模原市条例)	一般廃棄物(一般ゴミ、古紙、ダンボールなど)を処理する場合分別して指定日に指定場所へ排出し法規に遵守している事。	毎週木曜日に分別して排出しています。	○
資源有効利用促進法	パソコンを処分する際に法規に遵守して処理する事。	2024年4月に適切に排出しています。	○
フロン排出抑制法	3ヵ月毎に点検表に従い、簡易点検を実施する事	点検表より、異常なし	○

当社に適用とされる環境関連法規の遵守状況を確認した結果、上記の通り過去3年間違反はありませんでした。また、過去において近隣からの苦情、関係機関からの指摘、訴訟等もありませんでした。

8.代表者による全体評価と見直しの結果

今年度は、社屋リニューアル対応に伴う不要物の廃棄やエアコン増設に加え、猛暑・製品試験により、廃棄物や電力使用量が例年よりも増加し、非常に厳しい結果となった。

但し、電力、廃棄物については社屋リニューアルに伴う一過性の増加によるものなので、今後は問題ないと思われる。

工事完了後は、断熱材の効果や最新のエアコンによる冷暖房効率が見込まれるので、電力使用量削減を期待したい。

水道水使用量増加についても、外壁塗装工事の仕上げ散水確認と、駐車場の散水栓漏洩が原因(補修済み)と思われるので、今後は問題ないと思われる。

来年度からは営業活動強化により販売促進用資料などでコピー用紙の使用量は増加すると思われるが、引き続き通常業務でのデータ可を推進しペーパーレスに努めていただきたい。

また、社用車使用については、公共交通機関での移動がメインの為減少傾向となっている。

車移動の際はエコドライブを意識してほしい。

来年度以降は、環境委員会に若手社員を加え、新たな試みなどを意見交換し活性化を図りたい。

株式会社 アルテックス
代表取締役 渡邊 剛之